

平成27年度 見附市図工・美術部 活動報告

部長 小玉 純恵

1 研究主題

自分の思いを豊かに表現する子どもの育成

2 研究の概要

(1) 図工・美術部研修会

- ・実施日 平成27年8月3日(月)
- ・会場 見附市立見附第二小学校
- ・講師 長岡造形大学教授 結城 和廣 様
- ・内容 講演「子どもの絵の見方と指導」

(2) 見附市学童美術・きらきらアート展

- ・実施日 平成27年12月12日(土)～14日(月)
- ・会場 ネーブルみつけ
- ・対象 見附市内の小学校・中学校・特別支援学校児童・生徒
- ・展示 平面作品・立体作品

3 研究の実際(図工・美術部研修会)

中越教育美術展の特選作品を数多く見せていただきながら、「絵の見方や指導の仕方」についての研修を行った。子どもの絵のよさについて教えていただきながら、どのような指導によってそれが導き出されたかを推測したことを教えていただいた。子どもたちの絵を読み解くには、発達段階に合った独特の表現を知っておくことが大切であることも指導していただいた。

また、子どもたちが描きたいことをはっきりとするためには、教師が導入時にいろいろな工夫(子どもたちに思いを言葉にさせたり、動作化させたりなど)をしていくことが大切であること、水彩絵の具の使い方(筆洗の使い方など)の指導をしっかりと身に付けられるように繰り返し指導していくことが大切であることなどについても具体的に教えていただいた。



4 成果と課題

- ・幼稚園児の作品から中学生の作品までたくさんの作品を見せていただきながら、ご指導いただいたので、講師の先生が話していることがイメージしやすく、今後の指導に活かすことができました。
- ・マニュアル化された画一的な指導には弊害があり、何も指導されないことも大きな問題がある。導入時の意欲喚起や用具の使い方など適切な指導を繰り返ししていくことが必要である。その適切な指導法を教師自ら工夫し実践していかなければならないと感じた。